

長久手市国民健康保険保健事業について

資料4

第2期データヘルス計画(平成30年度～令和5年度)

長久手の健康課題を把握し、その課題整理に基づき被保険者の健康保持増進にむけて必要な個別保健事業を実施しています。

新規事業 ◎ 拡充事業 ○

1 特定健康診査受診率向上・特定保健指導利用率向上事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況
死因や医療費が多い原因は生活習慣病である。	特定健康診査でリスクの早期発見・予防ができることから、特定健康診査の受診率の向上や特定保健指導実施率の向上を目指す。	【特定健康診査】 未受診理由アンケートによると、通院中で定期的に検査をしているため受けないという人が多い。 集団健診の当日欠席者が多い。	◎受診勧奨通知	令和4年度健診未申込者を対象に受診勧奨通知を送付。健診受診歴、健診所見有無及び生活習慣病における医療機関受診有無、生活改善意欲により、7パターンに分類し、対象者に合わせた通知を行った。	送付時期 令和4年7月 通知件数 3,088件 (うち、過去3年受診者 187件) 申込件数 283件 (9.2%) (うち、過去3年受診者 81件(43.3%))
			◎オンライン申込受付の開始	健診予約システムを導入し、健診案内や受診勧奨通知にQRコードをのせてオンラインで日時を指定した申込みや申込み内容の変更ができるようにした。	オンライン申込件数 1,334件/3,703件 集団健診出席率 R3 84.1%⇒R4 91.7%(8/16時点)
		【特定保健指導】 利用勧奨時の聞き取りによると、平日昼間に時間がとれない人や、保健指導の必要性を感じていない人が多い。	○初回面談分割実施	集団健診会場で腹囲、BMI、血圧から対象者を判定し、初回面談を行う。令和4年度は 利用率向上のため、問診の医師から保健指導へ誘導してもらうようにした。	実施件数 R3 37件(実施率39.8%) R4(8/16時点) 25件(実施率96%)
			オンライン保健指導の実施	対象者には、健康づくり事業で活用している加入者向け健康WEBサービス内にバナーを表示し、特定保健指導の利用の案内、予約を行い、テレビ電話やチャットによるオンラインで特定保健指導を行う。	令和3年度実施件数 1件
			○イベント等をきっかけとした保健指導	特定保健指導の利用勧奨に応じず、保健指導ができていない人を対象に、「中間健診」として簡易血液検査を行い、同時に特定保健指導の初回面談を実施した。ウェアラブル端末の貸し出しを行い、歩数、心拍、睡眠等のデータをもとに保健指導を行う。	【中間健診】実施時期 令和4年2月～5月 実施件数 27件 【ウェアラブル端末の貸し出し】 2件

2 重症化予防事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況
疾病別医療費割合で最も多いのは糖尿病である	糖尿病が重症化し、合併症を引き起こすことを防ぐ。	重症化し人工透析や手術、入院が必要になると多大な医療費がかかっている。	◎医療機関受診勧奨通知	健診結果から受診が必要な人のうち通院治療がない人や4か月以上治療や服薬を中断している人を抽出し、受診勧奨通知を行う。	令和3年度通知件数 未受診者 169件 (通知後医療機関受診 27件 通知前受診 20人 資格喪失者 5人) 治療中断者 56件 (通知後医療機関受診 9件 通知前受診 12人 資格喪失者 6人)
			(専門医と連携した)糖尿病重症化予防事業	人工透析や心疾患で入院や手術に至る可能性の高い者をAIにより抽出し、愛知医科大学病院糖尿病専門医やかかりつけ医と連携し、管理栄養士、薬剤師によりアプリやZOOMなどを活用した個別指導(生活・食事・服薬・運動)を行う。専門医から投薬や食事指導についてのアドバイスをいただいたり、事業の最後にはかかりつけ医に向けて診断基準を提示してもらうため、事業終了後も、医療連携が期待できる。専門医と連携した取組は全国的にもめずらしい。	令和3年度実績 ・事業参加者 9名 ・事業に参加表明した医療機関 市内かかりつけ医 11機関 (うち、事業実施 2機関) ・事業に参加している専門医 愛知医科大学糖尿病内科 5名 事業参加者については、全員食事や運動習慣の改善がみられた。かかりつけ医からは、患者の日頃の生活や食事習慣がわかり、地域連携の重要性がわかった、との意見をいただいている。
薬剤の重複や禁忌の処方、漫然投与の事例がみられる。	複数の薬剤によって引き起こされる相互作用や有害事象を防ぐ。	複数の医療機関、薬局を利用しているため医師、薬剤師が服薬状況を把握できない。	◎服薬通知	レセプトデータ及び健診データから服薬行動支援の必要な対象者を抽出し、服薬状況を通知する。通知対象者に対し保険薬局で薬剤師による服薬適正化や生活習慣改善等のための健康相談を実施する。	県と共同実施。(健康相談可能な薬局が所在する県内市町村で実施) 通知予定件数 18件(県全体 約4,000件) 相談薬局 市内4カ所(県内448カ所)

3 健康づくり事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況
コレステロールの高い人、運動習慣のない人、生活改善意欲のない人の割合が高い。	コレステロールが高いと、脳梗塞や心筋梗塞を引き起こすため、原因となる運動不足などの生活習慣の改善が必要である。	健康教室を開いても、参加者が固定されており、特に若い世代の参加がない	◎加入者向け健康WEBサービス	パソコンやスマートフォンにより、健診結果を、健康度を示す指標である「健康年齢」を使って分かりやすく提供している。また、対象者の健康状態に合わせた健康記事を提供したり、WEB内で健康に関するイベントや毎日の歩数の記録などの取組に応じてポイントを付与する。ポイントを利用して健康関連グッズ等に交換することができる。	登録者数 697人(R4.8月時点) (令和3年度健康イベント参加者数) ・体重測定チャレンジ 95人 ・健康クイズ 109人 ・1日5,000歩チャレンジ 100人(5月) 104人(10月～11月) ・健診結果改善チャレンジ 532人